



院外処方推進について

現在、当院では院外処方箋発行率向上のためのキャンペーンを実施中です。院外処方箋の発行には、複数の医療機関から発行された処方薬のチェックが可能となることで安全性が向上することや院内での待ち時間が短縮されるなど患者にメリットがあるだけでなく、院内処方分の医薬品費削減など病院にもメリットがあります。

そこで、外来診療棟を中心にこのことに関するポスター等を掲示しますので、ご理解頂きますようよろしくお願いいたします。

オプジーボ点滴静注の用法用量変更のお知らせ(11月1日以降は保険請求できなくなります)

「オプジーボ点滴静注 20 mg・100 mg」 固定用量への用法・用量変更について

ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体「オプジーボ点滴静注 20 mg・100 mg」の用法・用量が、平成30年8月より、以下のように固定用量に変更されました。

変更前 (体重換算用量)		平成30年8月以降 (固定用量)
2 mg/kg、3週間間隔	→	240 mg固定用量、2週間間隔 3週間間隔 ^{※1}
3 mg/kg、2週間間隔		
1 mg/kg ^{※2} 、3週間間隔	→	80 mg固定用量 ^{※2} 、3週間間隔

※1：化学療法未治療の根治切除不能又は転移性の腎細胞がんに対するヤーボイとの併用時
※2：根治切除不能な悪性黒色腫に対するヤーボイとの併用時

上記表の「変更前」の用法・用量は、平成30年10月31日まで投与可能となっておりますが、11月1日以降は保険請求できなくなりますので、「固定用量」への切り替えをお願い致します。なお、レジメンオーダーにつきましては、10月10日より固定用量へ変更しております。

今後、体重換算用量でオーダーされた場合、固定用量に変更してもらう旨、疑義照会させていただきます。

新規採用常備医薬品等のお知らせ

平成30年9月12日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規常備医薬品、切り替え医薬品、追加医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。平成30年10月10日(水)からオーダー開始となっております。

時間外処方の散剤分包紙への印字開始について

10月15日8時30分以降の調剤分より、時間外処方箋の散剤分包紙への印字を開始しました。なお、時間外処方オーダーは必要最小限にとどめて頂き、できる限り時間内(平日8時30分~17時)にオーダー頂きますよう引き続きよろしくお願いいたします。

院内副作用報告

2018年9月に当院での使用患者において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
オペジーボ点滴静注	脳出血
キイトルーダ点滴静注	間質性肺疾患、斑状丘疹状皮疹、掻痒感、過敏性肺臓炎型薬剤性肺炎、副腎機能不全

上記薬剤を使用する際には、副作用の発現に注意してください。

配置薬在庫の見直しが無事終了しました

毎年救急の日に行っている外来ストック、病棟ストックの見直しが無事終了しました。ご協力ありがとうございました。特定生物由来製品（血液製剤）を使用する際にはロット管理の徹底をお願いします。

なお、外来及び病棟に在庫している毒薬・向精神薬は盗難を防ぐため、厳重に管理して下さい。

緊急購入薬の診療科限定オーダ中止のお知らせ

平成30年9月12日に開催された薬事委員会において、1年間処方されていない緊急購入薬の診療科限定オーダ中止の可否について審議した結果、下記の3品目についてオーダ中止が決定しました。平成30年10月19日にオーダ中止の予定です。

薬剤名	診療科
★ノイアート静注 1500単位	救命救急センター、産科婦人科
★PPSB-HT 静注 500U	救命救急センター
★ボナロン錠 35mg	整形外科

※薬事委員会でオーダ中止可能医薬品と承認され、全診療科に意見を求めた結果、上記に示す医薬品のオーダ中止に問題がないことが確認されました。

緊急購入薬(患者限定)オーダ開始のお知らせ

<患者限定医薬品>

オーダ開始日	緊急購入薬
2018.9.12	☆エルカルチンFF静注1000mg
2018.9.21	☆ニュープロパッチ2.25mg
	☆塩酸プロカルバジンカプセル50mg「中外」
	☆シダキュアスギ花粉舌下錠2000JAU
	☆シダキュアスギ花粉舌下錠5000JAU
	☆アイクルシグ錠15mg
	☆ニンラーロカプセル4mg
	☆タフィンラーカプセル75mg
2018.10.12	☆メキニスト錠2mg
	☆タフィンラーカプセル50mg
	☆メキニスト錠0.5mg
	☆タルグレチンカプセル75mg
	☆ヒューマログ注ミリオペンHD
	☆ドパストン散98.5%

効能・効果追加のお知らせ

◎リンゼス 0.25mg(一般名:リナクロチド) <グアニル酸シクラーゼ C 受容体アゴニスト>

【効果・効能】便秘型過敏性腸症候群、慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く）

*下線部を追加

用法・用量変更のお知らせ

◎トルツ皮下注 80mg オートインジェクター(一般名:イキセキズマブ(遺伝子組換え))

<ヒト化抗ヒト IL-17A モノクローナル抗体製剤>

下線部を一部変更

【効果・効能】既存治療で効果不十分な下記疾患

尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症

【用法・用量】通常、成人にはイキセキズマブ（遺伝子組換え）として初回に 160mg を皮下投与し、2 週間後から 12 週間後までは 1 回 80mg を 2 週間隔で皮下投与し、以降は 1 回 80mg を 4 週間隔で皮下投与する。なお、12 週時点で効果不十分な場合には、1 回 80mg を 2 週間隔で皮下投与できる。

◎バリキサ錠450mg(一般名:バルガンシクロビル塩酸塩) <抗サイトメガロウイルス化学療法剤>

小児適応追加（下線部）

【効果・効能】臓器移植（造血幹細胞移植を除く）におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制

【用法・用量】通常、小児にはバルガンシクロビルとして次式により算出した投与量を 1 日 1 回、食後に経口投与する。ただし、1 日用量として 900mg を超えないこと。推定糸球体ろ過量が 150 より高値の場合は 150 を用いること。

投与量 (mg) = $7 \times$ 体表面積 (m²) \times 推定糸球体ろ過量 (mL/min/1.73m²)

◎ブスルフェクス点滴静注用60mg(一般名:注射用ブスルファン) <造血幹細胞移植前治療薬>

用法用量の改訂（下線部）

【効果・効能】1. 同種造血幹細胞移植の前治療

2. ユーイング肉腫ファミリー腫瘍、神経芽細胞腫における自家造血幹細胞移植の前治療

【用法・用量】他の抗悪性腫瘍薬との併用において、成人にはA法又はB法、小児にはC法を使用する。なお、患者の状態により適宜減量する。

成人)

A法: ブスルファンとして1回0.8mg/kgを2時間かけて点滴静注する。本剤は6時間毎に1日4回、4日間投与する。

B法: ブスルファンとして1回3.2mg/kgを3時間かけて点滴静注する。本剤は1日1回、4日間投与する。

小児)

C法: ブスルファンとして以下の体重別の投与量を2時間かけて点滴静注する。本剤は6時間毎に1日4回、4日間投与する。

オード名変更のお知らせ

オード変更日	変更前		変更後
2018.9.7	リンベタ PF 液 0.1% 5mL	→	ベタメタゾン PF 液 0.1% 「日点」 5mL
	レミナロン 500 mg	→	ガベキサートメシル酸塩注 500 mg 「タタ」
2018.9.18	タンデトロン 500 μg	→	500 μg アルプロスタジルアルファデクス注射用
2018.9.26	エリーテン錠 5mg	→	メトクロプラミド錠 5mg
2018.10.3	タンデトロン注射用 500	→	アルプロスタジルアルファデクス点滴静注用 500 μg 「タタ」
	エリーテン注 10mg/2mL	→	塩酸メトクロプラミド注射用 10mg 「タタ」
2018.10.5	オキシコンチン錠 5mg	→	オキシコンチン TR 錠 5mg
2018.10.10	イオダイン M 消毒液 10%	→	ポビドンヨード消毒液 10% 「ケンエ」
2018.10.11	リツキサン 100mg, 10mL	→	リツキサン点滴静注 100mg 10mL
	リツキサン 500mg, 50mL	→	リツキサン点滴静注 500mg 50mL

オーダ変更のお知らせ

オーダ変更日	薬剤名	変更内容	変更理由
2018. 9. 28	アリミデックス錠 1mg	粉碎可「可」→「不可」	抗がん剤のため

包装変更、使用期限変更等のお知らせ

- ◎アコアラン静注用 600、1800(一般名:アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え))<血液凝固阻止剤>
有効期間 18 か月→24 か月、GS1 コードに使用期限と製造番号を付加
- ◎エネーボ配合経腸用液<経腸栄養剤> * 緊急購入薬
製品容器の形状変更、レイアウト変更
- ◎エンシュア・H<経腸栄養剤>
製品容器の形状変更、レイアウト変更
- ◎サイトテック錠200mg(一般名:ミソプロストール)<抗NSAID潰瘍剤>
個装箱の寸法と表示変更、PTP シートの寸法とデザイン変更、PTP シートの耳部のスリットを廃止
- ◎ジェイゾロフト錠25mg、50mg(一般名:塩酸セルトラリン)<選択的セロトニン再取り込み阻害剤>
個装箱およびラベルのデザイン変更
- ◎サンドスタチンLAR筋注用キット10mg、20mg、30mg(一般名:オクトレオチド酢酸塩) * 10mgは緊急購入薬
<持続性ソマトスタチンアナログマイクロスフェア型徐放性製剤>
シリンジキャップの色変更 (シリンジキャップ 白→透明)
- ◎トレーラン G 液 50g、75g(一般名:デンプン部分加水分解物)<経口糖耐容力試験用糖質液>
個装箱の注意書き文言変更および表示位置の変更、ラベル剥がれ防止のため瓶のラベル貼付範囲の細かい凸凹加工をなくしフラットな面への変更
- ◎プレアミン-P注射液<小児TPN用総合アミノ酸製剤>
バリア袋デザイン変更
- ◎ベサノイドカプセル 10mg(一般名:トレチノイン)<急性前骨髄球性白血病治療剤>
使用期限 4 年→3 年、容器瓶の形状、サイズ、デザイン変更、容器ラベルおよび個装箱の表示変更

ラコール NF 配合経腸用液のフレーバー追加のお知らせ

現在のミルク、コーヒー、バナナフレーバーに、新たに抹茶フレーバーが加われました。
ミルク以外のフレーバーを希望する際には、フリーコメントで記入することで払い出し可能となります。

製造販売承認承継・販売移管のお知らせ

- ◎ディフェリンゲル 0.1%(一般名:アダパレンゲル)<尋常性ざ瘡治療剤>
ガルデルマ株式会社→マルホ株式会社 (2018年9月28日)
- ◎マグネスコープ静注 38%シリンジ 11mL、15mL(一般名:ガドテル酸メグルミン注射液)<環状型 MRI 用造影剤>
- ◎リピオドール480注10mL(一般名:ヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステル注射液)
<リンパ系・子宮卵管造影剤 医薬品又は医療機器の調製用剤>
富士製薬工業株式会社→ゲルベ・ジャパン株式会社 (2018年10月2日)

「ファンガード点滴用50mg」自主回収のお知らせ

「ファンガード点滴用 50mg」<キャンディン系抗真菌剤>について、使用期限、製造番号の表示がない個装箱が認められたため、該当ロットについて自主回収となりました。
なお、個装箱の表示不備であり、製剤品質には影響しないため、健康被害の原因となるとは考えられていません。

「オンダンセトロン注射液4mg「F」」出荷制限のお知らせ

「オンダンセトロン注射液 4 mg「F」」<5-HT₃ 受容体拮抗型制吐剤>について、海外からの原薬の調達遅延により、一時的に出荷量が制限されることとなりました。通常の出荷量が供給可能となる時期は、本年 11 月上旬頃の見込みとなっています。

当院採用の代替薬は以下の薬剤となります。

- ・グラニセトロン点滴静注バッグ 3 mg/100mL「NK」
- ・アロキシ静注 0.75 mg
- ・ラモセトロン塩酸塩静注液 0.3 mg「ファイザー」

「ファルモルビシン注射用10mg」 出荷調整のお知らせ

「ファルモルビシン注射用 10 mg」<抗腫瘍性抗生物質製剤>について、製剤の製造工程に起因する不具合が判明したため、原因究明及び中間製品への影響が確認できるまで、当面の間、出荷調整されることになりました（本薬剤の在庫消尽時期は 2018 年 11 月上旬）。今後、状況が判明次第、随時連絡いたします。

つきましては、当院での代替薬「エピルビシン塩酸塩注射液 10 mg/5mL「NK」」への切り替えをご検討下さい。

「アダプチノール錠5mg」オーダー一時停止のお知らせ

「アダプチノール錠 5 mg」<暗順応改善剤>について、海外工場における供給遅延のため、供給の一時中断期間が発生いたします。これに伴い、10 月 6 日からオーダーを一時停止しています。つきましては、他の薬剤でのご対応をお願いいたします。今後の安定した供給再開の見込みについては、分かり次第、随時連絡いたします。

☆Drug Safety Update No. 273 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
アマタジン塩酸塩 (アマタジン塩酸塩錠 50mg「日医工」、100mg「日医工」、アマタジン塩酸塩細粒 10%「サイ」)	※重要な基本的注意：一部改訂 「A 型インフルエンザウイルス感染症」に本剤を用いる場合 <u>抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無又は種類にかかわらず、インフルエンザ罹患時には、異常行動を発現した例が報告されている。</u> <u>異常行動による転落等の方が一の事故を防止するための予防的な対応として、</u> <u>①異常行動の発現のおそれがあること、②自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から 2 日間、保護者等は転落等の事故に対する防止対策を講じること、</u> <u>について患者・家族に対し説明を行うこと。</u> <u>なお、転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動について、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から 2 日間以内に発現することが多いこと、が知られている。</u> ※重大な副作用：意識障害（昏睡を含む）、精神症状（幻覚、妄想、せん妄、錯乱等）、痙攣、ミオクロヌス、 <u>異常行動</u> ：一部改訂 意識障害（昏睡を含む）、精神症状（幻覚、妄想、せん妄、錯乱等）、痙攣、ミオクロヌスがみられることがある。このような場合には減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。特に腎機能が低下している患者においてあらわれやすいので注意すること。 <u>因果関係は不明であるものの、インフルエンザ罹患時には、転落等に至るおそれのある異常行動（急に走り出す、徘徊する等）があらわれることがある。</u>

成分名（薬品名）	主な改訂内容
スチニア [®] リンゴ [®] 酸塩 (スチニア [®] カプセル 12.5mg)	<p>※重大な副作用：<u>急性胆嚢炎</u> 追記 <u>無石胆嚢炎を含む急性胆嚢炎があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、休薬するなど適切な処置を行うこと。</u></p>
アンピ [®] シリンナトリウム (ビクシリン注射用 0.25g、1g)	<p>※重大な副作用：一部改訂 <u>中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。</u></p>
スルタミシリン酸塩水和物 (エナン細粒小児用 10%)	<p>※重大な副作用：中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、<u>急性汎発性発疹性膿疱症、剥脱性皮膚炎</u> 一部改訂 <u>中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、急性汎発性発疹性膿疱症、剥脱性皮膚炎があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。</u></p>
オセルタミビルリン酸塩 (タミフル [®] カプセル 75、タミフル [®] ドライシロップ 3%)	<p>※警告： 10歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるものの、本剤の服用後に異常行動を発現し、転落等の事故に至った例が報告されている。このため、この年代の患者には、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては、原則として本剤の使用を差し控えること。また、小児・未成年者については、万が一の事故を防止するための予防的な対応として、本剤による治療が開始された後は、①異常行動の発現のおそれがあること、②自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行うこと。 【上記の警告内容を削除】</p> <p>※重要な基本的注意：追記 <u>抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無又は種類にかかわらず、インフルエンザ罹患時には、異常行動を発現した例が報告されている。異常行動による転落等の万が一の事故を防止するための予防的な対応として、①異常行動の発現のおそれがあること、②自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者等は転落等の事故に対する防止対策を講じること、について患者・家族に対し説明を行うこと。</u> <u>なお、転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動について、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いこと、が知られている。</u></p> <p>※重大な副作用：精神・神経症状、<u>異常行動</u> 一部改訂 精神・神経症状（意識障害、譫妄、幻覚、妄想、痙攣等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、症状に応じて適切な処置を行うこと。<u>因果関係は不明であるものの、インフルエンザ罹患時には、転落等に至るおそれのある異常行動（急に走り出す、徘徊する等）があらわれることがある。</u></p>
ザナミビル水和物 (リレンザ [®])	<p>※重要な基本的注意：一部改訂 <u>抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無又は種類にかかわらず、インフルエンザ罹患時には、異常行動を発現した例が報告されている。異常行動による転落等の万が一の事故を防止するための予防的な対応として、①異常行動の発現のおそれがあること、②自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者等は転落等の事故に対する防止対策を講じること、について患者・家族に対し説明を行うこと。</u> <u>なお、転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動について、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いこと、が知られている。</u></p> <p>※重大な副作用：異常行動 追記 <u>因果関係は不明であるものの、インフルエンザ罹患時には、転落等に至るおそれのある異常行動（急に走り出す、徘徊する等）があらわれることがある。</u></p>
ドレゲラビルナトリウム (レビケイ錠 50mg)	<p>※重要な基本的注意：一部改訂 <u>肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査を行う等、観察を十分に行うこと。なお、臨床試験において、B型及びC型肝炎ウイルス重複感染患者では、トランスアミナーゼ上昇又は増悪の発現頻度が非重複感染患者より高かった。</u></p> <p>※重大な副作用：肝機能障害、<u>黄疸</u> 追記 <u>AST、ALT、ビリルビンの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。</u></p>

<p>トルテラビトリウム・アバカビル硫酸塩・ラミブジン (トリメク配合錠) *緊急購入薬</p>	<p>※重要な基本的注意：一部改訂 肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査を行う等、観察を十分に行うこと。なお、臨床試験において、B型及びC型肝炎ウイルス重複感染患者では、トランスアミナーゼ上昇又は増悪の発現頻度が非重複感染患者より高かった。</p> <p>※重大な副作用：肝機能障害、黄疸 追記 AST、ALT、ビリルビンの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。</p>
<p>パロキサビルマルボキシル (ゾフルザ錠 10mg)</p>	<p>※重要な基本的注意：一部改訂 抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無又は種類にかかわらず、インフルエンザ罹患時には、異常行動を発現した例が報告されている。異常行動による転落等の万が一の事故を防止するための予防的な対応として、①異常行動の発現のおそれがあること、②自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者等は転落等の事故に対する防止対策を講じること、について患者・家族に対し説明を行うこと。 なお、転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動について、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いこと、が知られている。</p> <p>※重大な副作用：異常行動 新設 因果関係は不明であるものの、インフルエンザ罹患時には、転落等に至るおそれのある異常行動（急に走り出す、徘徊する等）があらわれることがある。</p>
<p>ペラミビル水和物 (レミアク点滴静注液バッグ 300mg)</p>	<p>※重要な基本的注意：一部改訂 抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無又は種類にかかわらず、インフルエンザ罹患時には、異常行動を発現した例が報告されている。異常行動による転落等の万が一の事故を防止するための予防的な対応として、①異常行動の発現のおそれがあること、②自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者等は転落等の事故に対する防止対策を講じること、について患者・家族に対し説明を行うこと。 なお、転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動について、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いこと、が知られている。</p> <p>※重大な副作用：異常行動 追記 因果関係は不明であるものの、インフルエンザ罹患時には、転落等に至るおそれのある異常行動（急に走り出す、徘徊する等）があらわれることがある。</p> <p>※重大な副作用（類薬）：異常行動 削除</p>
<p>ラニビルオクタン酸エステル水和物 (レビル吸入粉末剤)</p>	<p>※重要な基本的注意：一部改訂 抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無又は種類にかかわらず、インフルエンザ罹患時には、異常行動を発現した例が報告されている。異常行動による転落等の万が一の事故を防止するための予防的な対応として、①異常行動の発現のおそれがあること、②自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者等は転落等の事故に対する防止対策を講じること、について患者・家族に対し説明を行うこと。 なお、転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動について、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現することが多いこと、が知られている。</p> <p>※重大な副作用：異常行動 追記 因果関係は不明であるものの、インフルエンザ罹患時には、転落等に至るおそれのある異常行動（急に走り出す、徘徊する等）があらわれることがある。</p>

※DSUについて：最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) で確認可能です。

①新規常備依頼医薬品 (合計7品目)

平成30年10月10日(水)よりオーダ開始予定

商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
テセントリク 429	注	1200mg	劇 ハイ リスク	625,567.0	中外製薬	Atezolizumab (Genetical Recombination) (JAN) 抗悪性腫瘍剤、抗PD-L1ヒト化モノクローナル抗体 ★肺癌治療薬として初めてのPD-L1阻害剤である ★先行のPD-1阻害剤(オプジーボ、キイトルーダ)と異なる作用点を持ち、PD-1とPD-L1並びにB7-1とPD-L1の結合も阻害することにより、T細胞の再活性化を促進し、抗腫瘍免疫応答を示す ★1人1バイアルの固定用量で調剤ミスが起こりにくい ★先行のPD-1阻害剤と同程度の副作用発現頻度 【発売:2018.4.18】
ナルサス 811	錠	2mg	劇 麻薬 ハイ リスク	202.8	第一三共	Hydromorphone Hydrochloride (JAN) 持続性癌疼痛治療剤 ★欧米では既にかん疼痛治療の標準薬であり、日本でもがん疼痛患者への新しい選択肢となりうる ★1日1回服用の徐放性製剤のため、コンプライアンス不良の患者でも使いやすい ★μオピオイド受容体に対して高いアゴニスト活性を示す ★代謝物の活性がないため蓄積した際の懸念が低く、モルヒネ製剤より腎機能障害患者に使用し易い ★肝臓におけるCYPの影響がなく、CYP1による薬物相互作用の可能性が低い 【発売:2017.6.19】
ナルラビド 811	錠	1mg	劇 麻薬 ハイ リスク	110.6	第一三共	Hydromorphone Hydrochloride (JAN) 癌疼痛治療剤 ★欧米では既にかん疼痛治療の標準薬であり、日本でもがん疼痛患者への新しい選択肢となりうる ★強オピオイドで速放性製剤であるのはナルラビドのみであり、散剤や液剤が服用不可な患者でも経口でレスキューが可能となるため ★μオピオイド受容体に対して高いアゴニスト活性を示す ★代謝物の活性がないため蓄積した際の懸念が低く、モルヒネ製剤より腎機能障害患者に使用し易い ★肝臓におけるCYPの影響がなく、CYP1による薬物相互作用の可能性が低い 【発売:2017.6.19】
ネイリン 629	Cap	100mg	-	804.6	イーザイ	Fosravuconazole L-Lysine Ethanolate (JAN) 経口抗真菌剤 ★皮膚の糸状菌感染症の中で最も治療に難渋する爪白癬症に対するの新規内服薬 ★ラブコナゾールのプロドラッグであるホスラブコナゾール-L-リンエタノール付加物を含む ★爪白癬症のみの適応症 ★1日1回1カプセルを12週間経口投与により、完全治癒率59.4%、著効率83.1%と極めて高い効果を発揮している ★食事に関係なく服用できる ★これまでの経口抗真菌薬(イトリゾールやラミシール)に比べて併用禁忌薬がなく、併用注意薬も限られているため、多剤内服中の高齢者も含めて幅広く使用可能な薬剤である ★外用療法で効果が得られなかった多くの爪白癬の患者に対しての使用が期待される 【発売:2018.7.27】

ハルモディア 218	錠	0.1mg	-	33.9	興和	<p>Pemafibrate (JAN) 高脂血症治療剤 ★選択的PPARαモジュレーター(Selective Peroxisome Proliferator-activated receptor-α modulator: SPPARMα)の概念に基づいて開発された、初めての薬剤 ★治験時において、ハルモディア錠の通常用量である0.2mg/日は、フェノフィブラート106.6mg/日と比較して優れたTG低下作用と安全性を示した ★本剤0.2mg/日を54週投与した結果、TGは45%減少、HDL-Cは約13%上昇した ★胆汁排泄型の薬剤 ★治験時にスタチン併用試験を実施し、有効性と安全性を確認している(スタチンとは原則併用禁忌) ★経済性(1日あたりの薬価) ・ハルモディア錠0.1mg: 67.8円(0.1mg(33.9円/錠)×2回) ・リビディル錠80mg: 67.8円(80mg(33.9円/錠)×2錠) ・ベサトルSR錠200mg: 50.0円(200mg(25円/錠)×2回) 【発売: 2018.6.1】</p>
ヤーホイ 429	注	50mg	劇 ハイ リスク	485,342.0	フリストル・マ イヤース・スク イブ	<p>Ipilimumab (Genetical Recombination) (JAN) 抗悪性腫瘍剤、ヒ型抗ヒCTLA-4モノクローナル抗体 ★本剤(イピリムマブ)は、ヒ細胞傷害性Tリンパ球抗原-4 (CTLA-4) に対する遺伝子組換えヒIgG1モノクローナル抗体であり、抗PD-1抗体製剤(オプジーボ、キイトルーダ)やBRAF阻害剤(タフィラー)などと並び、根治切除不能な悪性黒色腫に対する治療の主役として、本邦を含めた世界中で使用されている ★CTLA-4とそのリガンドである抗原提示細胞上のB7 (CD80/CD86)との結合を阻害することにより、活性化T細胞における抑制的調節を遮断し、腫瘍抗原特異的なT細胞の増殖、活性化及び細胞障害活性の増殖により、腫瘍増殖を抑制する ★制御性T細胞(Treg)の機能低下及び腫瘍組織におけるTreg数の減少により腫瘍免疫反応を亢進させ、抗腫瘍効果を示す 【発売: 2015.8.31】</p>
レンビマ 429	カプセル	4mg	劇 ハイ リスク	3,956.4	エーザイ	<p>Lenvatinib Mesilate 抗悪性腫瘍剤 ★VEGF受容体、FGF受容体、RET等の複数のキナーゼに対して作用する ★他のキナーゼ阻害剤と異なり、FGF阻害作用・結合様式(DFG-in構造)を有する ★ネクサバルに対する非劣性が証明され、ネクサバルと共に進行肝細胞癌への第一選択薬 ★奏効率や無増悪期間は、ネクサバルに対しレンビマが良好 ★緊急購入歴あり 【発売: 2015.5.20】</p>

②切り替え医薬品 (合計10品目)

商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
エンブレル皮下注ペン 399	皮下注	25mg/0.5 mL	劇	15,937.0	ファイザー	<p>Etanercept (genetical recombination) (JAN) 完全ヒ型可溶性TNFα/LTαレセプター製剤 ★自己注射の際に手技が簡便になり、針刺し事故のリスク軽減が可能になると考えられる ★薬価 ・シリンジ製剤: 15746円/筒 ・ペン型製剤: 15937円/キット 【発売: 2018.6.18】</p>

献血ウエノグロブリンIH10% 634	注	0.5g/5mL	特生	4,559.0	日本血液製剤機構	Polyethylene Glycol Treated Human Normal Immunoglobulin 血漿分画製剤(液状・静注用免疫グロブリン製剤) ★5%製剤と同一の適応症と薬価 ★5%製剤と比べて投与液量が半分になり、容量負荷が軽減できる ★5%製剤と同一速度で投与可能なため、投与時間が短縮できる場合がある ★慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)や筋炎、重症筋無力症などの免疫グロブリン大量療法時において、容量負荷及び時間負荷が患者負担として発生するため10%製剤では負担の軽減が可能になると考えられる 【発売:2018.6.26】
		5g/50mL		38,547.0		
		10g/100mL		77,245.0		
シエルガン眼粘弾剤 131	筒	0.5	-	5,206.3	参天製薬	Sodium Hyaluronate (JAN)、Purified Sodium Hyaluronate (日局)、Chondroitin Sulfate Sodium (JAN) 眼科手術補助剤 ★室温保存なので冷蔵庫のスペースを占めることがなく、手術前にあらかじめ室温に戻しておく必要がない(ヒスコートは冷所保存必要) ★薬効薬理は標準製剤(ヒスコート)と同等である ★薬価はヒスコート0.5眼粘弾剤と同等(5206.3円/筒) 【発売:2016.7.5】
ヒュミラ皮下注ペン 399	皮下注	40mg/0.4mL	劇	62,596.0	アッヴィ合同会社	Adalimumab (Genetical Recombination) (JAN) ヒ型抗TNF α モノクローナル抗体製剤 ★自己注射の際に投与が簡便であることと、針が見えない構造となっており、安全性が高いと考えられる ★薬価:ペン型製剤(62596円)、シリンジ製剤(62384円) 【発売:2018.6.11】
プレセデックス「マルイン」 静注液 112	シリンジ	200 μ g/50mL	劇	5,413.0	丸石	Dexmedetomidine Hydrochloride (JAN) α_2 作動性鎮静剤 ★プレフィルドシリンジ製剤 →希釈調製不要、迅速投与可能 →誤投与や異物混入等のリスク低減 ★薬価:バイアル製剤(5098円)、シリンジ製剤(5413円) 【発売:2018.6.14】
ヘキサックAL1%OR綿棒 12 261	外用	1%	-	-	吉田製薬	Chlorhexidine Gluconate 外用殺菌消毒剤 ★現在採用されているヘキサックAL1%綿棒12は無色透明のため、消毒した範囲が識別しにくい ★OR液はオレンジ色に着色されており、消毒範囲の識別が容易となっている 【発売:2016.6.13】
リュープロレリン酢酸塩注 キット「あすか」 249	筒	3.75mg	劇 ハイ リスク	23,729.0	あすか製薬	Leuprorelin Acetate (JAN) LH-RH誘導体、マイクロブセル型徐放性製剤 ★先発品(リュープリン注射用キット)と比較して、生物学的同等性が認められている ★先発品と比較して、1ヶ月当たり11,001円の薬価差があり、患者負担を軽減できる ★薬価:先発品(34,730円)、当薬剤(23,729円) 【発売:2014.2.20】
ルネスタ 112	錠	1mg	-	48.8	エーザイ	Eszopiclone (JAN) 不眠症治療薬 ★現在ルネスタ錠2mgの採用しかなく、翌日への薬効遅延、それに伴う転倒リスクの問題があるため、高齢者へ使用しづらい ★安全性の高い薬剤(規格)の選定を希望している 【発売:2012.4.18】

④新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品（合計7品目）

商品名	剤形	規格	区分	削除理由
イオウ・カンフルローション	外用	100mL	-	ヤーホイ点滴静注液50mg採用の場合、削除
グリチロン配合	錠	-	-	ネリソカセル100mg採用の場合、削除
スベアラ	cap	100mg	劇	レンビマカセル4mg採用の場合、削除
ピシパニール	注	0.2KE	劇	テセントリク点滴静注用1200mg採用の場合、削除
ロキソニン	錠	60mg	-	ナルサス錠2mg採用の場合、削除
ロキソニンテープ	外用	100mg	-	ナルビト錠1mg採用の場合、削除
ロレコ	錠	250mg	-	ハルモティア錠0.1mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。あるいは、治療に問題のある場合、「患者限定」に登録します。（注：「患者限定」は原則、在庫しない医薬品です。）

⑤削除医薬品（合計13品目）

商品名	剤形	規格	区分	削除理由
インテパンSP	Cap	25mg	劇	販売中止のため、削除（在庫がなくなり次第削除）
エンブレルシリンジ	皮下注	25mg	劇	エンブレル皮下注25mgへん0.5mL採用のため、削除（在庫がなくなり次第削除）
ビスコート0.5眼粘弾剤	筒	-	-	シエルガン0.5眼粘弾剤採用のため、削除（平成30年10月10日以降削除）
プロクトセイル	軟膏	-	-	ゲーフェイス錠5mg採用のため、削除（平成30年10月10日以降削除）
献血ウエノグロブリンIH5%	注	0.5g/10m	特生	献血ウエノグロブリンIH10%静注0.5g/5mL採用のため、削除（平成30年10月10日以降削除）
		5g/100mL	特生	献血ウエノグロブリンIH10%静注5g/50mL採用のため、削除（平成30年10月10日以降削除）
		10g/200mL	特生	献血ウエノグロブリンIH10%静注10g/100mL採用のため、削除（平成30年10月10日以降削除）
ヒュミラ注シリンジ	皮下注	40mg/0.4mL	劇	ヒュミラ皮下注40mgへん0.4mL採用のため、削除（在庫がなくなり次第削除）
プレセテックス「マルイシ」	注	200μg	劇	プレセテックス静注液200μg/50mLシリンジ「マルイシ」採用のため、削除（在庫がなくなり次第削除）
ヘキサックAL1%綿棒12	外用	1%	-	ヘキサックAL1%OR綿棒12採用のため、削除（平成30年10月10日以降削除）
ミラクリット	注	25000単位	-	販売中止のため、削除（在庫がなくなり次第削除）
リユーブリン注射用キット	注	3.75mg	劇 ハイ リスク	リユーブリン酢酸塩注射用キット3.75mg「あすか」採用のため、削除（在庫がなくなり次第削除）
ルネスタ	錠	2mg	-	ルネスタ錠1mg採用のため、削除（在庫がなくなり次第削除） ^{***}

***変更になっています

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻：麻薬、毒：毒薬、劇：劇薬、向：向精神薬、特生：特定生物由来製品、ハイリスク：医療安全上注意を要する薬剤